進や介護予防に繋がっている。

現在、本市においても、水城公園内の「いきいき健康エリア」を初め、市内に25基の健康遊具が設置されているが、遊具のさらなる活用推進のため、利用説明板に加え、写真付きの利用方法と運動効果を記載した利用の手引きやチャレンジ記録が必要と考えるがどうか。

答 健康遊具を有効的に活用するために、写真付き利用方法や運動の効果、チャレンジ記録ができるものを記載した利用手引きを、関連部署と協議を進め、作成する方向で検討していきたい。

問 身近な公園に「いきいき健康エリア」があれば、日々楽しく気軽に健康管理ができ、「健康寿命」を延ばし、医療費抑制に効果が期待される。

水城公園内の健康遊具

そこで、公園に設置してある健康遊具について、ホームページや各種団体等へ幅広く周知してはどうか。

答 ホームページには、市民の皆さんの健康増進にご利用いただけるよう、健康遊具の設置場所や使用方法などを掲載していきたい。

また、高齢者学級やながちか体操普及事業の参加者にも、周知していきたい。

問 子どもの事故防止については、配慮しているのか。

答 使用年齢の制限を遊具に表記し、適正な年齢での使用を促しているが、遊具から転落した場合を想定し、重大な事故にならないよう、ゴム製マットを設置するなど安全対策を講じていきたい。

〔その他の主な質問〕

○浸水被害軽減対策について

認知症

徘徊高齢者等見守りボランティア

二本柳妃佐子（公明党）

問 厚生労働省の研究班の推計によると、2012年時点での65歳以上の高齢者3079万人のうち、認知症の人は462万人、軽度認知障がいの人は400万人に及び、65歳以上のほぼ7人に1人が認知症であることが分かった。

徘徊などで行方不明になった人が、昨年1年間で1万322人、そのうち151人は現在も不明となっている。

介護者や家族が安心できるよう、早急な対策を講じることが重要である。

長野県小諸市では、外出に不安や心配のある高齢者を守るため、本年4月から高齢者の履物に張り付ける反射ステッカーを配布している。また、兵庫県たつの市では、徘徊またはその恐れのある方を事前に連絡先や身体的特徴を登録し、靴に張る「ピカッとシューズステッカー」を配布している。登録情報を関係機関が共有し、地域ぐるみで発見、保護していくネットワークだが、徘徊高齢者等の早期発見、保護するための本市の対応は。

答 在宅の認知症高齢者が、徘徊行動により行方不明となった場合、防災行政無線や、浮き城のまち安心・安全情報メール配信サービスを活用して、協力を呼びかけている。

また、介護者には徘徊高齢者の現在位置が探索できる端末機器を貸与する事業を実施している。

問 夜でも目につく「ステッカー」を張ることで目印となり、早期発見、保護に役立つものと思う。小諸市やたつの市のような地域ぐるみでの取り組みについて市の考えは。

答 地域ぐるみでの取り組みは、徘徊高齢者を早期発見する上で有効であると認識している。市では、先進事例について、今後、調査研究するとともに、徘徊高齢者の早期発見に向けた地域ぐるみでの具体的な方策を検討していく。

〔その他主な質問〕

○きめ細やかな「子育て支援」

市議会を傍聴してみませんか

議場は市役所の3階にあり、50人分の傍聴席が設けられています。傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけでどなたでも傍聴できます。

詳しいことは市議会事務局までお問い合せください。

☎553－1550（直通）

請願

6月定例会に提出された請願は6件で、所管の委員会で慎重に審査を行い、次のとおり決定しました。（敬称略）

○「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願（不採択）

提出者　行田市教職員組合
代表者　木元　恒雄
付託先　総務文教常任委員会

○「高校・大学教育の無償化」の前進をもとめる請願（不採択）

提出者　行田市教職員組合
代表者　木元　恒雄
付託先　総務文教常任委員会

○行田市議会の「市政に対する一般質問のケーブルテレビ放映」の早期実現を求める請願（不採択）

提出者　行田市政を考える会
代表者　菊地　悦子
付託先　議会運営委員会

○行田市議会のインターネット配信を求める請願（不採択）

提出者　行田市政を考える会
代表者　菊地　悦子
付託先　議会運営委員会